

[専門教育関連科目/環境の理解]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
保健医療福祉行政論 I	NSF32_004	必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
望月 宗一郎	302	s.mochizuki	水曜日 12:30~14:00		
授業の目的・概要	わが国は、世界に例を見ない急速な少子高齢社会を迎えている。今後は更なる高齢化の進展により、医療・介護サービスの需要の拡大が予想される中で、これに対応できる地域医療提供体制を構築していかなければならない。保健医療福祉行政論 I では、社会システムの基盤をなす医療提供体制の理解が深められるよう、保健医療福祉行政の仕組みや制度の変遷、財政の理念、保健医療福祉に関する計画策定に至るまで、幅広い知識と考え方を身につけることを目的とする。 オンラインによる同時双方向授業の中でこれらを理解し、フィードバック等によりさらに理解を深める。				
学習上の助言	本科目には、2年次必修科目の「公衆衛生学」をしっかりと復習した上で臨むこと。また、3年次必修科目の「社会保障論」、「看護と関係法規」と特に密接に関わっており、連動させて学修することを勧める。				
教科書	保健医療福祉行政論 標準保健師講座別巻 1 / 編:藤内修二 / 医学書院 / 2021				
参考書	国民衛生の動向 2020/2021 厚生省の指標増刊 / 厚生労働統計協会 / 2020				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	保健医療福祉行政の基本的な仕組みを理解し、説明できる。		HSU(1)(2)、NS(1)		
②	わが国の社会情勢の変化に対応した保健医療福祉の政策を説明できる。		HSU(1)(2)、NS(1)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーションから本科目の概要を学ぶ。 保健医療福祉行政の根拠とビジョンについて学習する。	同時双方向型授業	教科書の序章を予復習する。		4
2	保健医療福祉制度の変遷① 公衆衛生政策の基盤形成期について学習する。	同時双方向型授業	教科書の第1章を予復習する。		4
3	保健医療福祉制度の変遷② 公衆衛生政策の充実・転換期について学習する。	同時双方向型授業	教科書の第1章を予復習する。		4
4	保健医療福祉行政の仕組みについて学習する。	同時双方向型授業	教科書の第2章を予復習する。		4
5	医療提供体制と医療保障について学習する。	同時双方向型授業	教科書の第3章を予復習する。		4
6	介護保険制度の概要と課題について学習する。	同時双方向型授業	教科書の第3章を予復習する。		4
7	わが国の地域保健の体系について学習する。	同時双方向型授業	教科書の第4章を予復習する。		4
8	保健医療福祉計画について学習する。 これまでの学習を定着させる。	同時双方向型授業	教科書の第5章を予復習する。		4
試	筆記試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

[専門教育関連科目/環境の理解]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	0
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	看護師国家試験をベースにした筆記試験を行う。 試験問題は選択式とする。				必要に応じ試験問題の解説を行い、不明点を解消させる。
	②	✓					
レポート	①						
	②						
成果発表	①						
	②						
ポートフォリオ	①						
	②						
その他	①						
	②						
備 考							
<ul style="list-style-type: none"> ・講義には特別な理由がない限り毎回出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。 ・質問の受付は授業時間のほか常時メールにて行う。授業の進行や内容について不明な点があった場合には確認すること。 ・学生の理解度に応じ、講義の速度や順番を調整する可能性がある。 ・担当する教員は、保健師としての実務経験を活かしこの科目を教授する。(行政保健師として8年間の勤務経験あり) ・一部 Teams を使った同時双方向型授業を行うため、通信容量無制限の Wi-fi 環境を推奨する。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって、シラバスの内容が一部変更となる可能性がある。 							